

執行部

- *1月24日に特別委員会を曹洞宗檀信徒会館にて開催し会務会計や会則・規程についての精査検討を行いました。
- *2月21日に第5回執行部会、翌22日に第6回理事会と特別委員会を東京都青松寺様にて開催し、第18期の総括にむけての会務確認を行いました。また併せて特別委員会にて平成23年度の定期評議員会・定期総会へ上程する会則・規程の改正について審議しました。
- *新年度になり、4月19日に第1回執行部会と並行して年度末監査、翌20日には第1回理事会と特別委員会を曹洞宗檀信徒会館にて開催しました。第18期の総括となる22年度活動報告・会計報告、第19期の指針を示す23年度活動予定・予算案、会則・規程の改正案を定期評議員会・定期総会への上程に向けて確認検討を行いました。



法式委員会

- *今期の法式委員会の活動としては、三つの事業を柱に進めてまいりました。一つ目は『二師侍者公務帖』の加筆再版事業です。初版関係諸師の方々から資料収集しての再刊となりました。二つ目はDIGIそうせい『出班焼香法の手引き』の頒布事業です。大乘寺にて本伝供の撮影を行い、愛知県日泰寺専門僧堂において十八拝法要の撮影を行いました。冊子を付けることにより、細かな資料をも提供することができました。三つ目は面山瑞方撰『洞上僧堂清規行法鈔』の現代的改訂事業です。清規研究の第一人者の尾崎正善先生に監修依頼し、面山瑞方を顕彰しておられる永福会ご協力のもと、事業を進めることができました。今年5月の総会頃には完成する予定となっております。法式委員会として、三つの事業の遂行を終え、法式の原点に立ち戻るという意味でも大きな成果を残すことができたと思います。

総合企画委員会

- *全国のご寺院様並びに会員諸師におかれましては、頒布物を多数ご購入いただきまして誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。第18期では、全曹青をご支援いただいている皆さまに、頒布事業を通して少しでも還元できるように活動してまいりました。出向した委員全員が、各曹青会で培った力を存分に発揮し、委員会の業務に適材適所で邁進してくださったことをここにご報告いたします。本当に最高のメンバーで2年間有意義に活動させていただきました。第19期では写経を通じた布教活動を推進する予定です。頒布活動に引き続きご協力賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

広報委員会

- *『東日本大震災』の発生に伴って、ホームページ『般若』にリンクする災害復興支援部のページにおいて、被災地並びに支援の情報をリアルタイムで発信しました。被災地からの悲痛の叫びを逐次追うのは、胸を締め付けられるような作業の連続でした。しかし、被災地と各曹青会をつなぐ手段として、『般若』と災害復興支援部のページが大きな役割を果たしたことが、委員会にとって今後の大いなる糧になることを祈念して止みません。
- *『般若』のダウンロードコーナーに、映像クリエイターの広瀬知哲師(株式会社慈眼 元・全曹青委託広報委員)ご提供のイラスト100点余りを収録、公開しました。また、『般若』のリニューアルで一時公開を止めていた過去期のイラストも、あわせて再収録しました。



虚空蔵菩薩



地藏菩薩